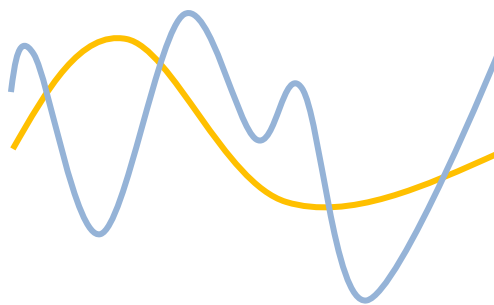


アナリーゼ  
波動分析報告書／測定値

エナジーナキソ TQ-K

2021年1月15日

株式会社YJU 様



アクアタック研究室  
代表／片岡 章



〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北3-8-11-401

Tel, Fax : 03-3480-9618

E-mail : [aquatack@msc.biglobe.ne.jp](mailto:aquatack@msc.biglobe.ne.jp)

HP : <https://www.aquatack.com>

# 波動分析報告書／測定値

## エナジーナキン TQ-K

2021年1月15日

株式会社 Y J U 様

アクアタック研究室  
代表 片岡 章



〒201-0004  
東京都狹江市岩戸北 3-8-11-401  
Tel, Fax : 03-3480-9618  
e-mail : aquataack@msc.biglobe.ne.jp

検 体 : エナジーナキン TQ-K

測定形態 : 波動消去した50ml ビーカーに検体10 g を入れて測定

測 定 者 : 片岡 章

測 定 器 : PRA-NK型(旧称:QRS)

測 定 日 : 2021年1月12日

(S +1 = +100億)

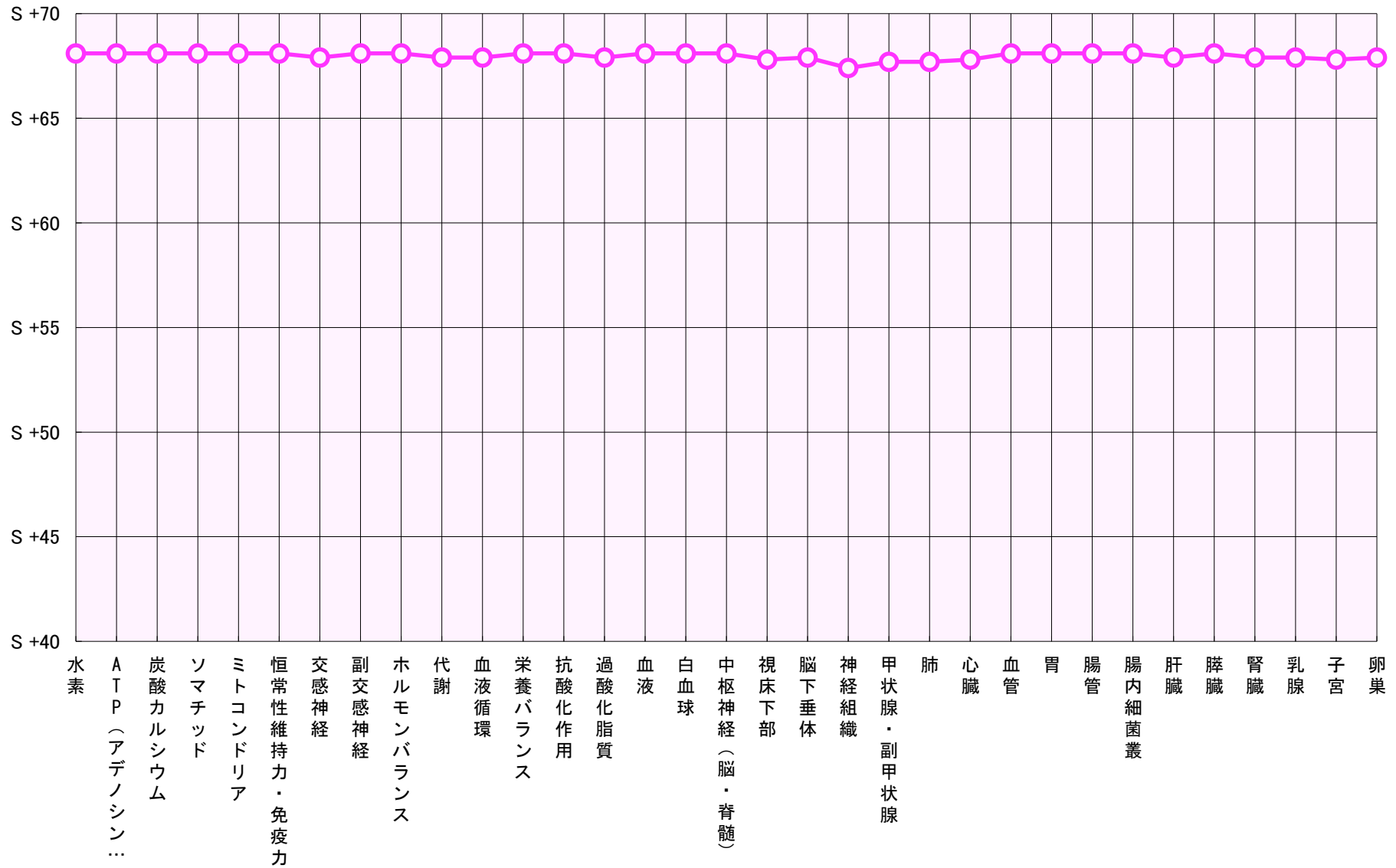
No.	項 目	code	エナジーナキン TQ-K		
1	水 素	P840	S +68.1		
2	ATP (アデノシン三リン酸)	H114	S +68.1		
3	炭 酸 カ ル シ ウ ム	I568	S +68.1		
4	ソ マ チ ッ ド	A078	S +68.1		
5	ミ ト コ ン ド リ ア	O669	S +68.1		
6	恒常性維持力・免疫力	B222	S +68.1		
7	交 感 神 経	D140	S +67.9		
8	副 交 感 神 経	D599	S +68.1		
9	ホ ル モ ン バ ラ ン ス	C895	S +68.1		
10	代 謝	H094	S +67.9		
11	血 液 循 環	F543	S +67.9		
12	栄 養 バ ラ ン ス	H895	S +68.1		
13	抗 酸 化 作 用	A214	S +68.1		
14	過 酸 化 脂 質	H731	S +67.9		
15	血 液	C540	S +68.1		
16	白 血 球	O889	S +68.1		
17	中 枢 神 経 ( 脳 ・ 脊 髄 )	C850	S +68.1		
18	視 床 下 部	C840	S +67.8		
19	脳 下 垂 体	D329	S +67.9		
20	神 経 組 織	D201	S +67.4		
21	甲 状 腺 ・ 副 甲 状 腺	E384	S +67.7		
22	肺	D996	S +67.7		
23	心 臓	D166	S +67.8		
24	血 管	D614	S +68.1		
25	胃	D199	S +68.1		
26	腸 管	C419	S +68.1		
27	腸 内 細 菌 叢	D325	S +68.1		
28	肝 臓	D273	S +67.9		
29	膵 臓	D302	S +68.1		
30	腎 臓	D802	S +67.9		
31	乳 腺	D698	S +67.9		
32	子 宮	D449	S +67.8		
33	卵 巢	D096	S +67.9		

No.	項 目	code	エナジーナキン TQ-K		
34	皮 膚	D330	S +68.1		
35	肌 の き め	K079	S +68.1		
36	肌 の 潤 い	A423	S +68.1		
37	筋 肉 組 織	D691	S +67.7		
38	骨	D784	S +67.7		
39	電 磁 波 障 害	M635	S +67.5		
40	放 射 線 障 害	E170	S +67.4		
41	ウ イ ル ス	F121	S +67.8		
42	ス ト レ ス	E222	S +68.1		
43	冷 え 症	K274	S +68.1		
44	だ る さ ・ 倦 怠 ・ 疲 労	D823	S +68.1		
45	肥 満 症	D373	S +68.1		
46	炎 症	D372	S +67.9		
47	悪 性 腫 瘍 ( が ん )	F005	S +68.1		
48	ア レ ル ギ ー	G383	S +68.1		
49	糖 尿 病	D789	S +67.9		
50	う つ 病	D859	S +67.9		
51	認 知 症	D654	S +67.6		
52	脳 梗 塞	A026	S +67.8		
53	パ ー キ ン ソ ン 病	I030	S +68.1		
54	歯 周 病	D008	S +67.9		
55	心 筋 梗 塞	D557	S +67.6		
56	動 脈 硬 化	F244	S +68.1		
57	高 血 圧	D520	S +67.7		
58	骨 粗 鬆 症	D590	S +67.6		
59	炎 症 性 リ ウ マ チ	J031	S +68.1		
60	幸 福 ・ 愛	C493	S +68.1		
61	感 謝	A596	S +68.1		
	最 大 値		S +68.1		
	平 均 値		S +67.9		
	最 小 値		S +67.4		

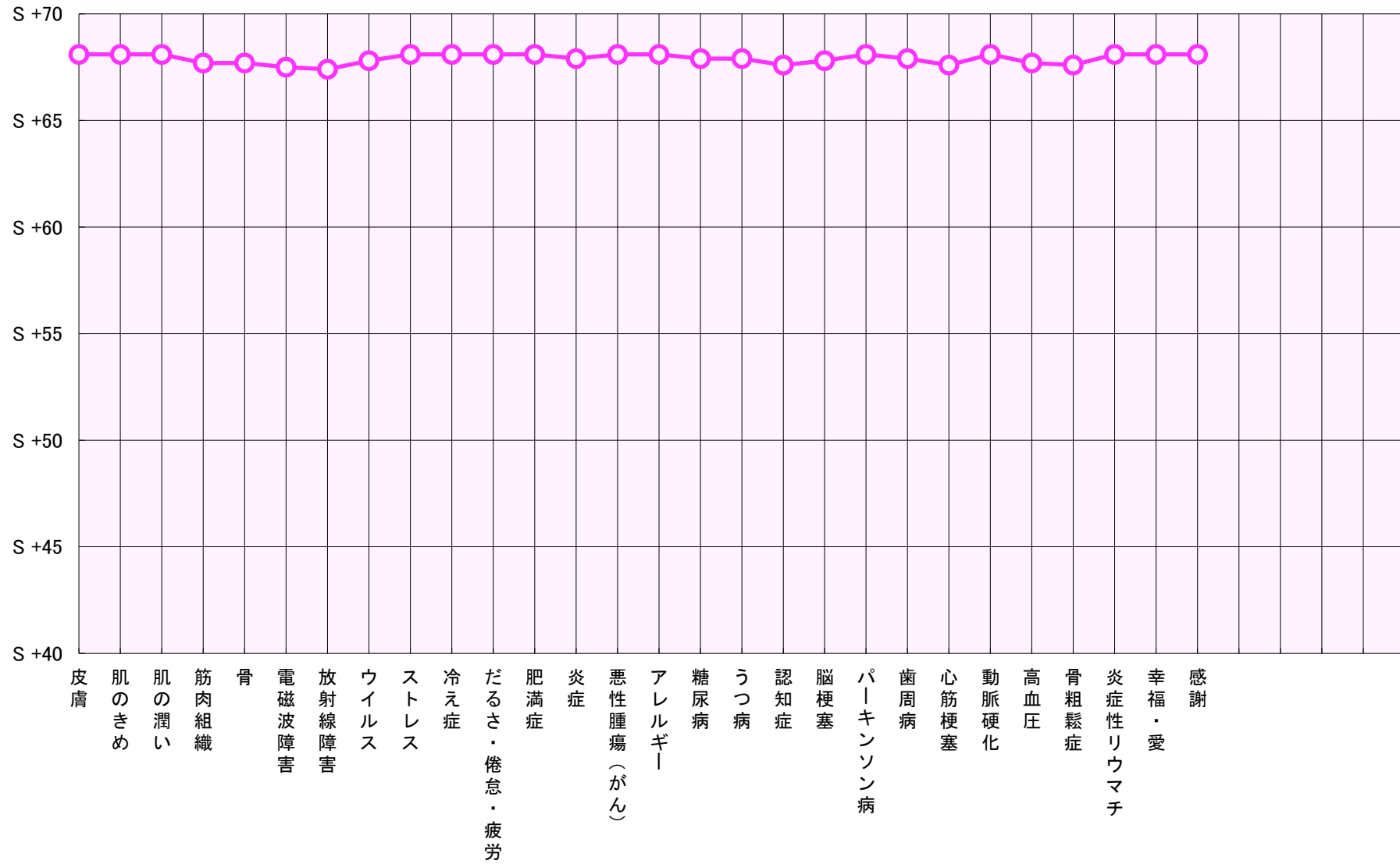
\* これまでに測定されている最も高い数値は **S +68.1** です。

- ☆ 上記の平均値は、数値表記の性質上、通常とは一部異なる計算法により算出されております。  
また、誤差の切上げ(切下げ)により、見かけ上、最大値(最小値)と同値になることもあります。
- ☆ 波動値は、どの項目も、プラスの方が、望ましい意味になります。
- ☆ 波動値の高低が示すのは、その物品のエネルギー状態や作用の仕方であって、単なる優劣ではありません。
- ◎ 当波動測定は、現行の科学の範疇に属するものではありません。  
また、医学的・薬学的な効能を保証するものでもありません。
- ◎ 上記の理由から、当報告書につきましては、  
通常の化学分析・成分分析のような扱い(パッケージへの表示など)ではなく、  
ひとつの試みによる資料としてご利用くださいますよう、お願いしております。  
その範囲・スタンスであれば、印刷物・ネット情報として公表していただいて構いません。

# エナジーナキン TQ-K



# エナジーナキーン TQ-K



## 測定値から導かれる指標（統計量）

### 1. 《活性度》… 波動値の高さ

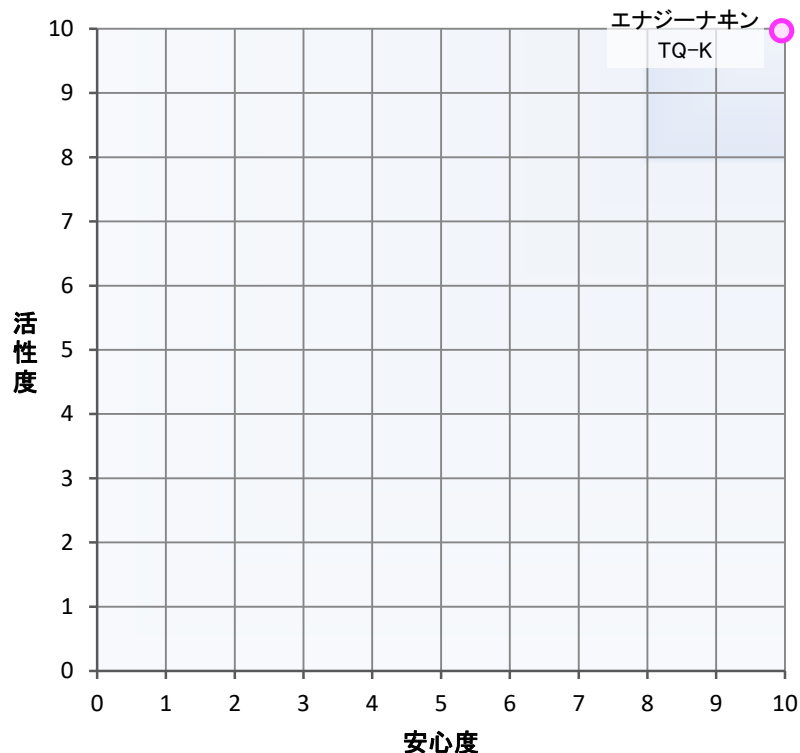
グラフ → 『《活性度》／世間の製品との比較』（3Dグラフ）  
 『世間の製品の状況 I／《活性度》』（分布グラフ）

		エナジーナキン TQ-K		
■	最 大 値	S +68.1		
	平 均 値（活 性 度）	S +67.9		
	最 小 値	S +67.4		
* これまでに測定されている最も高い数値は <b>S +68.1</b> です。				
■	これまでの最高値を10とすると	9.97		
波動エネルギーの <b>活性度</b> を表します。 波動値の高さが意味するものについては、下記資料をご覧ください。 → 『物品・製品の波動値(人への作用)』				

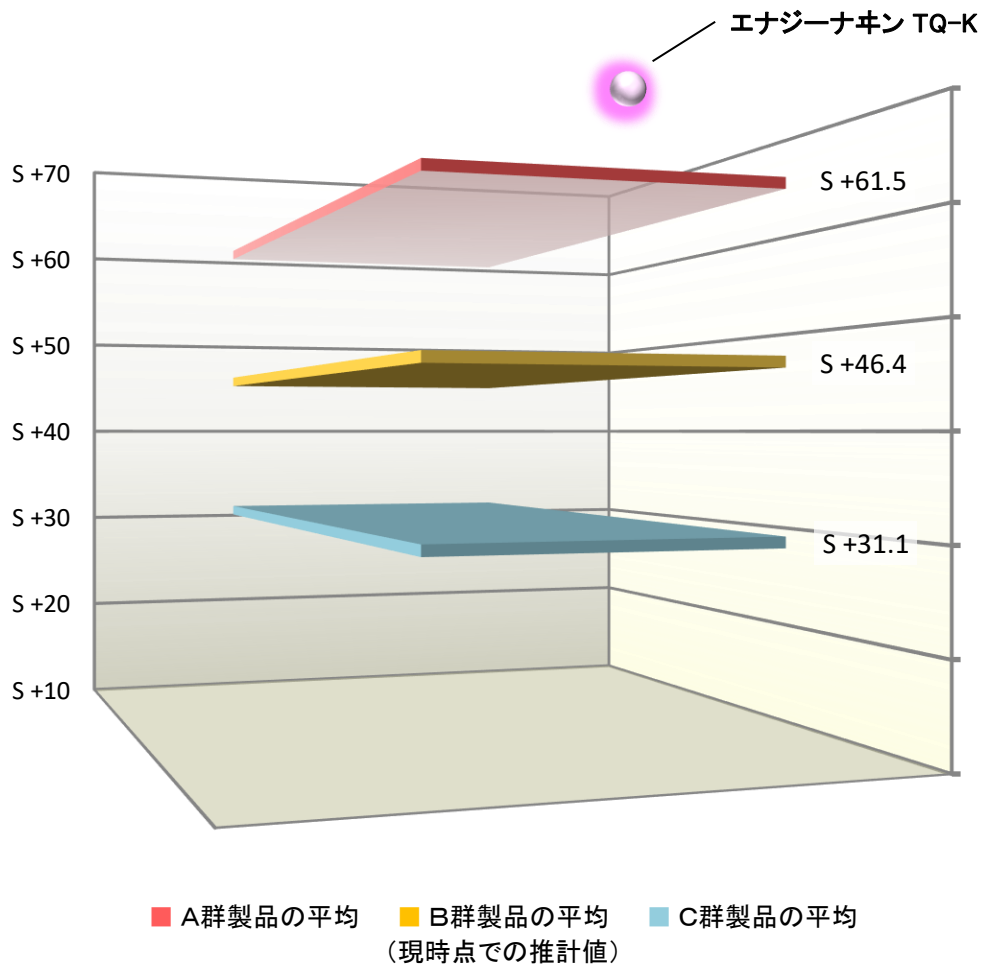
### 2. 《安心度》… バランス

グラフ → 『世間の製品の状況 II／《安心度》』（分布グラフ）

		エナジーナキン TQ-K		
■	安 心 度	9.95		
安心して利用できる <b>度合</b> を表します。 ・数値が <b>高い</b> → だれもが <b>安心</b> して利用できます（食品など） ・数値が <b>低い</b> → <b>効能とリスクが同居</b> するため、専門家の判断を要します（薬など）				



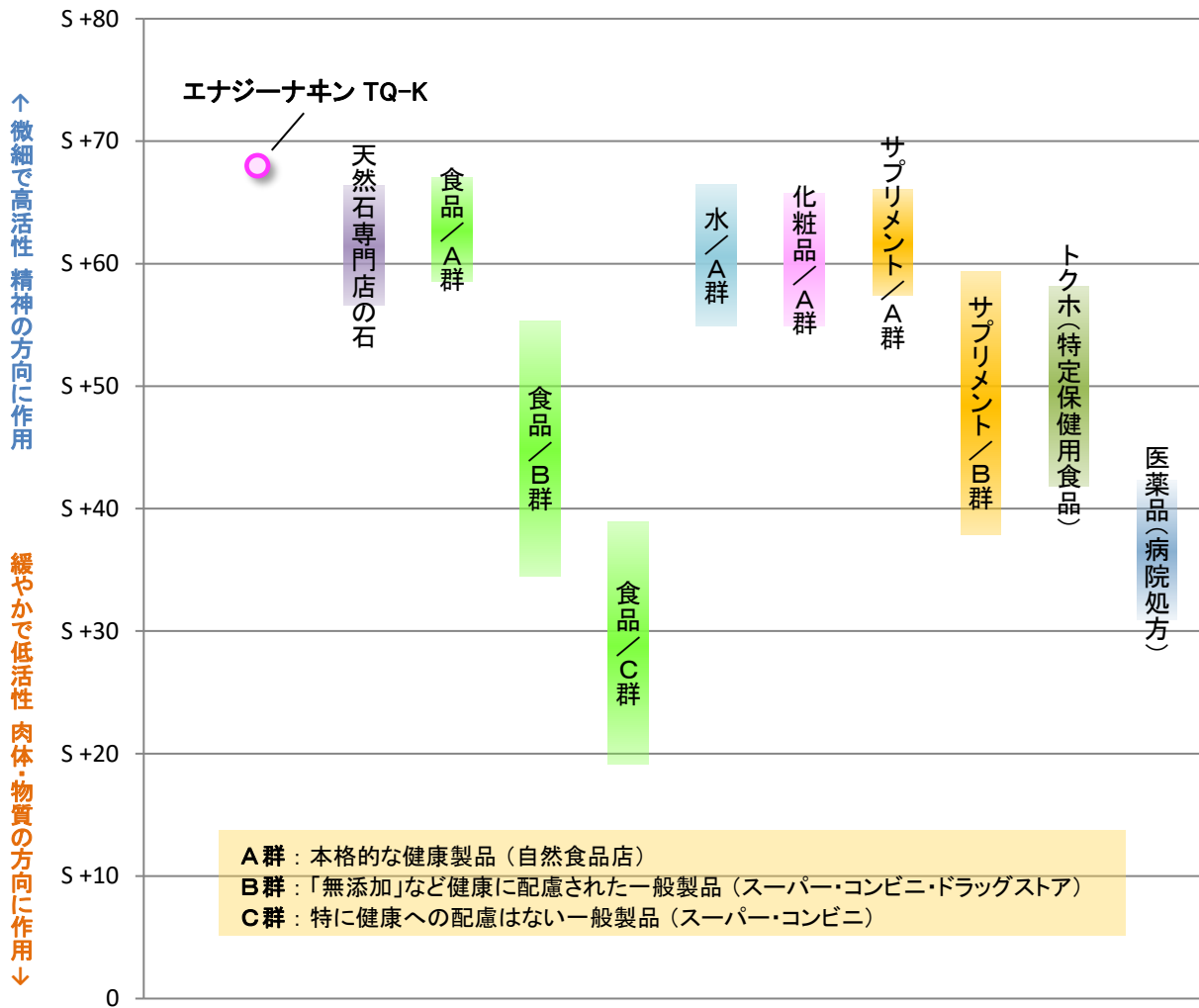
## 波動値の高さ / 世間の製品との比較



- A群 本格的に健康・波動を考慮した製品  
自然食品店・ヒーリングショップ等にて販売されているもの
- B群 「無添加」「有機」等の表示がある、健康に配慮された一般製品  
スーパー・コンビニ・ドラッグストア等にて販売されているもの(「トクホ」「機能性表示食品」等を除く)
- C群 B群のような表示がなく、格別な健康への配慮はされていない一般製品  
スーパー・コンビニ等にて販売されているもの

## 世間の製品の状況 I

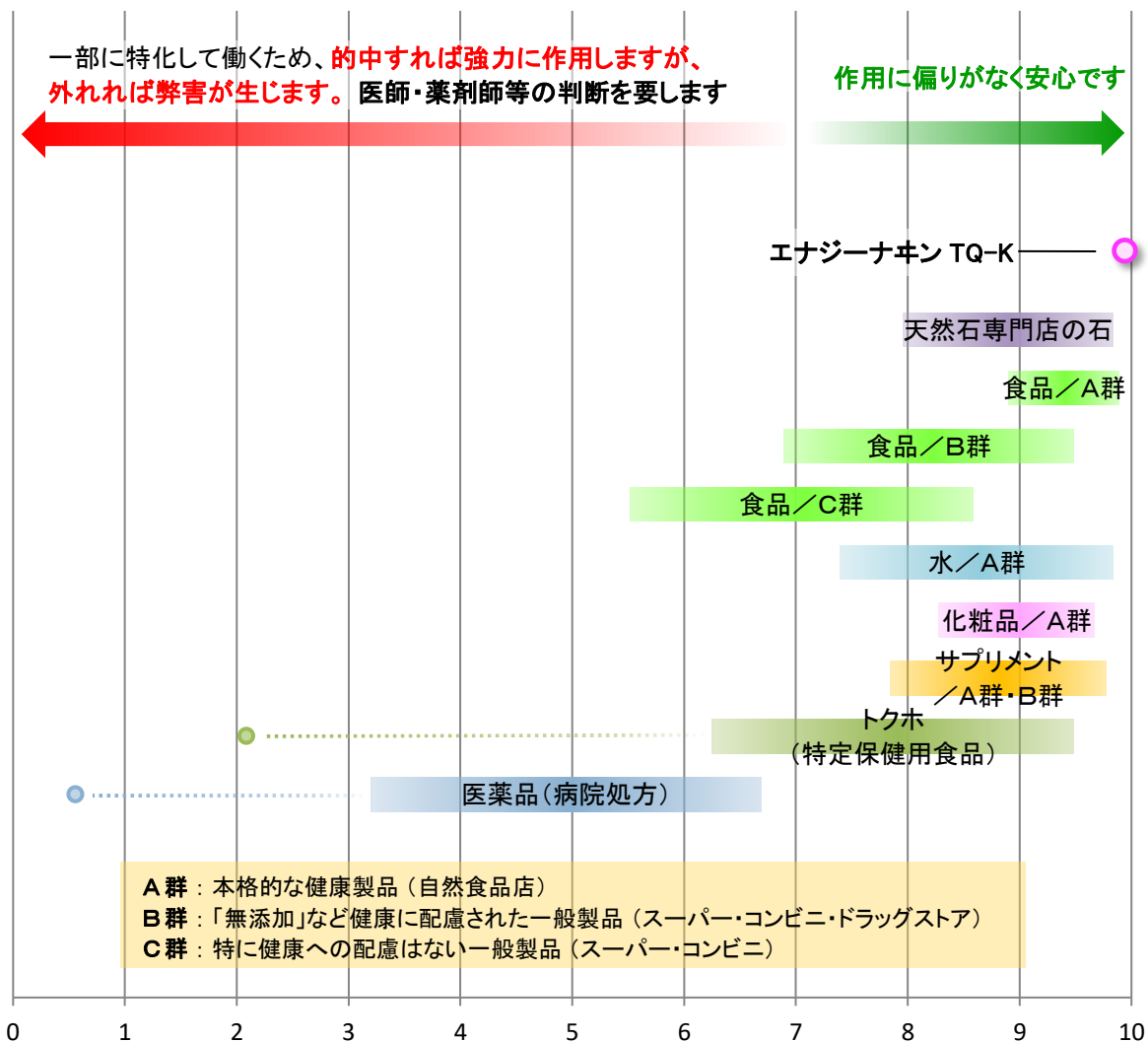
《 活性度(波動値の高さ) 》



- どのカテゴリーも、平均(各縦棒の中央の高さ)付近に多くの製品が分布しております。棒グラフに描かれているのは、そのカテゴリーに属する製品の約70%(平均の上下35%ずつ)が該当すると推定される範囲です。これらは、カテゴリーのなかでは**一般的**な製品、と見なすことができます。そのさらに上下(描かれていない部分)には、格別高い、もしくは低い製品が、約15%ずつ分布します。
- グラフ全体についても、波動の高さとして中央付近(S +40 ~ S +50)に位置する製品は、一般的で需要の多いものであると考えられます。
- カテゴリーの分類に際しては、「健康」「自然」「生命力」「感情・精神」「(作り手・売り手の)意識」など、波動値の高低に反映する要因を手掛かりとしました。



## 世間の製品の状況 II 《安心度(バランス)》



### ■ 《安心度(バランス)》とは

ひとつの製品であっても、測定項目によって波動値は異なり、数値間に格差が生じます。

《安心度》は、この格差から割り出したもので、以下の性質を表します。

- ・高値 = 格差が小さく、バランスがよい。誰もが安心して利用できる（食品など）
- ・低値 = 格差が大きく、アンバランス。特定の強力な作用が望める反面、リスクを伴う（薬など）

\*《安心度》の計算式は、アクアタック研究室が作成したものです。

### ■ グラフの説明

「医薬品」の《安心度》が最も低く、「トクホ」がそれに続きます。「食品」は、比較的高いところにあります。

該当する製品の約70%（平均値の両側35%ずつ）が分布すると推定される範囲を描いておりましたが、なかには、そこから大きく外れるものもあります。参考までに、「トクホ」「医薬品」のうち《安心度》が最も低かったものを、分布範囲の左側に描き加えました（○ ……）。

特定の効能を持たない「食品/C群」の《安心度》が低い理由として、添加物などの影響が考えられます。「医薬品」や「トクホ」のように特定の効能を目的として設計されたものではありませんから、想定外の偏りが生じていることとなります。